

## 保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人 東京児童協会
施設名	かさい発みらい行きほいくえん
報告者（役職）	馬場 与志子（園長）
住所・連絡先	東京都江戸川区東葛西 6-16-15
	☎ 03-3680-7331
	E-mail kasai-mirai@ookinaouchi.com

### ○タイトル（保育計画）

「運動遊び」と「砂場遊び」で運動機能の発達と情緒の安定を図る

### ○主な助成備品

巧技台、砂場ユニット

## 1. 保育計画策定の目的

我が新園の目標は、乳幼児期に有意義な非認知能力を獲得し、園児一人ひとりの人間力を育むという点にあり、この目標は「安全・安心な保育環境と、健やかな心と体を育み、豊かな想像力を養う」という本事業の目的にも沿ったものであると考えます。同時に、我が園の特色として、デジタルサイネージを駆使した保育の提供という新たな挑戦に取り組み始めています。

しかし、現代の子どもたちを取り巻くスマホ・バーチャルリアリティーの世界にすでに没頭している子どもが多く見受けられ、人間力の育成とデジタルを活用した新たな学びの調和が困難であることを実感しております。また、我が園では、未知なるAI・多様性の新時代を生き抜く子どもたちのための環境整備には至っていないことも課題であると考えます。また、最寄駅より徒歩5分と恵まれた立地条件に園舎はありますが、それ故に公共公園の数の少なさと近隣園との重複により、十分に体を動かすことができないのが現状です。子ども達の成長に合った運動機能を高めることにより生涯にわたり健康的活動的な生活習慣の形成にも役立つと考えます。

そこで、人間力の育成とデジタルによる新たな学びの融合という挑戦を達成するため、未来の子どもたち一人ひとりが自分らしく輝ける力をつけることを目的とします。

## 2. 具体的な実施

### 「運動遊び」

(乳児クラス)

・手や足の筋肉が鍛えられ、バランス感覚が育ち始める時期です。徐々に自分の力で手足を使いながら「登る」「渡る」「降りる」「バランスを取る」等の運動を積み重ねることで、体を動かし自分を守る力に繋げることができます。そして、走り回ったりジャンプができるようになるため様々な運動能力の成長が見られるようになりました。

傾斜板を使った運動遊びでは、四つん這いで登り、手足の力の入れ具合を感じてもらいました。最初は一人では登れない子どもも必要に応じて保育士等がお尻部分を軽く支えることで筋力を使い登りきることができるようになりました。そして、高いところからジャンプでは一人でできなかった子どもが一人でできるようになると、好奇心が旺盛になり意欲的に取り組む子どもが増え「つぎは、ぼく!」「みててね」と他児や保育士等と一緒に楽しんでいます。



(幼児クラス)

・バランス感覚が養われ、片足立ちができるようになったり後ろ向きに歩けるようになります。

3～5歳児の異年齢保育では、巧技台を使用したサーキット遊びを行っています。サーキットでは、一本橋やはしご、滑り台等を使用し体を動かして楽しみ、最初は「たかい」「できない」と足場の悪さと高さから恐怖心を感じ、保育士等に助けを求めようとする姿も見られました。支援者が手を繋ぎながら力を調節することで、不安定なバランスを保てるように体幹を使えるようになりました。また、他児の頑張る姿を見ながら一生懸命手足を動かし、やりきる子どもが増えました。



## 「砂場遊び」

### (乳児クラス)

・最初は触れることに抵抗を見せる子どもが多くいましたが、保育士等が遊びの手本を見せることで抵抗感が薄くなり砂の感触を味わいながら、身近な道具を使用し遊ぶことが多くなりました。

2歳児になってくると園庭や公園で見つけた草花を使い、自然物を取り入れて遊ぶ姿や保育士等や他児と関わりを持ちながら遊ぶ姿が見られるようになりました。少しずつ想像力・創造力を育むことができるようになりました。



### (幼児クラス)

・泥の感触や砂の変化を味わいながら、他児とイメージを共有しながら遊ぶことを楽しんでいます。様々な玩具を使いこなし、ごっこ遊びに展開させていき社会性や協調性を育てている様子が見られます。また、大きな山を作る際に必要に応じて水を加えて砂を固める等し、適応能力を培っています。



### 3. その成果と評価

#### 「運動遊び」

室内で体を楽しく動かせる環境を設置し、体力・運動能力の基礎（柔軟性・平行性・集中力・注意力・気力・自立・忍耐・自信・バランス・持久力・チャレンジ精神・協調性・闘争心・心身の成長等）を培います。

握る・登る・滑る・体幹のバランス・柔軟性が身につきます。

#### 「砂場遊び」

乳児 砂を握ったり、つまんだりして砂の感触を楽しみ自然物を取り入れて遊びます。

幼児 砂や水を含むと泥になる感触の変化を楽しみ、創造する遊びを楽しみます。

1. 感覚
2. 運動能力の向上
3. 社会性、協調性が身につく
4. 適応力が養える
5. 物や道具を使いこなす
6. 達成感を味わい、肯定感を持つ
7. 創造力が育つ

### 4. 今後の課題と展望

#### 「運動遊び」

現段階では、保育士が準備し巧技台の設定の中で体を動かしています。しかし、今後は子どもたち自身が巧技台の設定を思案し、自分たちが自主的に体を動かしたい内容を発展させていきたいと考えます。

#### 「砂場」

小さな社会である砂場の中で、どのような物語が創られているかが非常に楽しみです。

各年齢が思う存分、おままごと遊び、泥団子づくり、山・トンネルづくり・宝探しゲーム等、イメージを発展させ遊びにつながるよう見守っていきたいと考えます。

以上